

第8回研究大会（新潟産業大学）の概要

金 田 一 郎（大会実行委員会委員長）

環日本海学会第8回研究大会は、2002年10月26日及び27日の両日、新潟産業大学において開催された。最初に、本多健吉会長より開会の挨拶がなされた。韓国東北亜経済学会からは、檀国大学校産業経営大学院長・金世栄先生、江南大学校・許允先生、慶南発展研究院・鄭大喆先生をお迎えした。

第一日の26日は、本学会と「環日本海大学連合」（国際シンポジウム開催のための環日本海地域諸大学の協力体制）を結合する形で「北東アジアにおける経済安定と発展」というテーマで国際シンポジウムが行われた。ここでは、この数年の東アジアの経済状況を踏まえ、通貨・金融問題に一つのポイントを置いた。内田安三新潟産業大学学長の挨拶に続いて、基調講演が、元山一インターナショナル会長、現新潟産業大学教授の山本利久氏により「持続的経済成長が期待されるアジアの通貨・金融情勢—その現状と展望—」というテーマで行われた。

続いてパネル・ディスカッションが、第一部、第二部の順で行われた。第一部のテーマは「社会・経済活動における各地域の『持続的発展』の確立」であり、パネリストは、モスクワ国立経営大学ボリス副学長、ハバロフスク国立経済・法律アカデミー・ロシュコフ教授、韓国・江原大学校・鄭基文教授、コーディネータは新潟大学・小山洋司教授であった。第二部のテーマは「研究・教育における国際的・大学間協力の前進」であり、パネリストは、韓国・慶一大学校・朴東烈教授、台湾・成功大学文学院長・任世雍教授、新潟産業

大学・梅沢精教授、コーディネータは新潟産業大学・竹内明眸副学長であった。

第二日の27日には、午前は「経済1」、「外交・国際交流」、「観光」の三分科会、午後は「経済2」、「文化・歴史」、「産業」、「生物資源」の四分科会に分かれて個別報告が行われた。回を重ねるに従って内容が学際的に豊かになってきたように思う。

因みに、今回は、学際性を重んずる本学会の性格を考えて、お互いに学問の隣接領域にただ敬意を表し合うだけでなく、更に一步を進めて、お互いに隣接領域に立ち入って実質的に忌憚なくご議論頂くということを狙ってみた。口幅ったいが、文字通りの学際研究ということである。そのため、コメンテータの先生方には強引なお願いを致した場合もあったかと存じますが、この機会に、お詫びと同時に、厚く御礼申し上げます。

また、今回、レセプションの際などに、「環日本海」の名称問題を心配される声が聞かれた。勿論、このユニークな学会の名称を絶やしたくないという含みからであったと思う。自己完結的な完全な言語体系の創出は難しいと思うが、「環日本海」の国際共通語を含めた環日本海関係国際共通キーワードのglossary = 限定的な「環日本海エスペラント」の創出のようなことが考えられないものかと夢想してみた。国際、国内の使い分けを明確にするのも解決に至る一法かと。

最後に、会長先生はじめ会員の皆様に対しまして、ご協力、お力添えのほど、厚く御礼申し上げます。

目 次

〔投稿論文〕

A Comparative Analysis of Human Resource Management in Two Timber-Processing Enterprises: a Russian Enterprise and a Japanese-Russian Joint Venture ERMACHKOVA Svetlana (FANUC Ltd.)	1
U.S. Missile Defense Policy and International Security: Implications for East Asia TAKEDA Setsuo (Nihon University)	19
韓国における使用済み製品のリサイクル政策と拡大生産者責任 村上 理映 (九州大学・大学院)	35
文永・弘安の役と台風 卯田 強 (新潟大学)	51

〔特別寄稿論文〕

Interest Rate Differentials and Spot Exchange Rates: Korea and Japan HEO Yoon (Kangnam University) CHANG Myung-Ki (Kangnam University)	60
--	----

〔第8回研究大会報告要旨〕

第8回研究大会 (新潟産業大学) の概要 金田 一郎 (大会実行委員会委員長)	68
--	----

第1分科会：経済1

1. 北東アジア開発銀行創設に向けての戦略とアクションプログラム 李 鋼哲 (東京財団)	69
コメント 千葉 康弘 (秋田経済法科大学)	
2. 中国の開発戦略の再検討 加藤健太郎 (福井県立大学・大学院)	72
コメント 江口 潜 (新潟産業大学)	
3. ロシアにおける新規学卒者労働市場の変容 堀江 典生 (富山大学)	75
コメント 恩田 久雄 (ロシア極東国立総合大学函館校)	
4. 日本企業における内部労働市場の普及の状況とその推移について — 1981年から1991年にかけての製造業の場合 — 江口 潜 (新潟産業大学)	77
コメント 宮本 喜雄 (金沢星稜大学)	

第2分科会：外交・国際交流

1. 90年代の中国外交における日中関係

—「パートナーシップ」構築の合意にいたる対日政策を中心に—

海老原 毅（富山商船高等専門学校）……………80

コメント 若月 章（県立新潟女子短期大学）

2. 新たな地域連携のあり方と大学の役割

—「北東アジア国際ユースフォーラム」の取り組みを事例として—

山田 一隆（立命館大学・大学院）……………83

コメント 佐渡友 哲（秋田経済法科大学）

3. 環日本海洋上大学の提案 ～諸大学学生による交流共通基盤の模索～

雨宮 洋司（富山大学）……………87

コメント 藤田 暁男（放送大学）

第3分科会：観光

1. 北東アジア観光交流圏形成の現状に関する研究

梁 春香（東洋大学）……………90

コメント 野村 允（北陸環日本海経済交流促進協議会）

2. 渤海国旅遊路の開発整備に関する研究

佐々木宏茂（東洋大学）

青木 雅明（東洋大学）……………93

コメント 金 光林（新潟産業大学）

3. 韓国東海岸地域の経済・観光の現状と今後

的場 伸晃（北陸環日本海経済交流促進協議会）……………97

コメント 坂田 幹男（福井県立大学）

4. 環日本海観光資源の評価に関する考察

小浪 博英（東洋大学）……………99

コメント 佐々木宏茂（東洋大学）

第4分科会：経済2

1. Toward a Technology, Information, Knowledge Centered Country

KIM Sae-Young (Dankook University)

JEONG Dae-Chul (Kyeongnam Development Institute)……………103

コメント 浦山 重郎（麗澤大学）

2. Interest Rate Differentials and Spot Exchange Rates: Korea and Japan

HEO Yoon (Kangnam University)

CHANG Myung-Ki (Kangnam University)……………105

コメント 山本 利久（新潟産業大学）

第5分科会：文化・歴史

1. 東アジアにおける韓国の大衆文化（韓流） —その現状と展望—

金 光林（新潟産業大学）……………107

コメント 詹 秀娟（新潟産業大学）

2. 文永・弘安の役と台風	
卯田 強 (新潟大学)	109
コメント 櫛谷 圭司 (新潟大学)	

第6分科会：産業

1. 北京における商品住宅の新しいニーズの分析と今後の予測	
櫛谷 圭司 (新潟大学)	
石原 雄峰 (新潟大学・大学院)	111
コメント 橋本 次郎 (新潟産業大学)	
2. 中国のWTO加盟 ― 東北三省を中心にして ―	
荒木 弘文 (新潟中央短期大学)	115
コメント 岡本 光治 (京都産業大学)	
3. 中国の電機メーカー「海爾」の日本進出	
呉 曉東 (西南学院大学)	117
コメント 木幡 伸二 (福岡大学)	
4. シベリアにおける日ロ合弁木材企業と現地木材企業の比較	
スヴェトラナ・エルマチコーヴァ (名古屋大学・大学院)	120
コメント 野村 允 (北陸環日本海経済交流促進協議会)	

第7分科会：生物資源

1. 北西太平洋ロシア経済水域における水産資源利用のグローバル化と日ロ水産関係への影響	
荒井 信雄 (札幌国際大学)	123
コメント アンドレイ・ペロフ (福井県立大学)	
2. 佐渡汽船 (佐渡航路) による鯨類の目撃ならびに衝突記録	
本間 義治 (新潟大学名誉教授)	125
コメント 岡本 勝規 (富山商船高等専門学校)	
3. 鮭をめぐる相剋史 ― 日本海の汚染防止に向けて ―	
芳井 研一 (新潟大学)	128
コメント 渋谷 武 (新潟大学名誉教授)	

会員著書紹介	131
--------------	-----

環日本海学会会則	134
『環日本海研究』編集要綱	136
『環日本海研究』執筆要綱	137
役員：理事会／事務局／編集委員会	139
編集後記	140